

各地で小型犬の大量遺棄が
明るみになる中、富山県内
も繁殖業者の廃業で多くの犬
が劣悪な環境で放置されてい
たことが分かった。金沢市を
拠点とするボランティア団体
が飼い主を探しているが、
「法改正で悪質な繁殖業者の
問題が表面化した。この機に
実態を知ってほしい」と訴え
る。

捨てられた犬を保護して新
しい飼い主を探している「石
川ドッグレスキュー」が、富
山県内の繁殖業者を初めて訪
れたのは今年六月。古い倉庫
に、鳥かごほどの大きさのケ
ージがとどころ狭しと並んでい
た。繁殖用に飼われていた犬
は、プードルやダックスフン
トなどペット店で人気の小型
犬ばかり。

◆ふん尿垂れ流し
だが、すべての歯がなかつ

放置犬 命の叫び

県内の業者廃業 劣悪環境に60匹

たり、毛が抜けて皮膚がただ
れていたりと、愛くるしさとは
程遠い姿だった。腹にこぶし

状況だった」と池田裕美子代
表(三)が振り返る。

ただれたり、歯が無くなった
りしていたのは、不衛生な環
境や過度な出産による栄養不

相次ぐ小型犬の遺棄につい
て、池田代表は「法律が厳し
くなったし寄せでは」と指

大の腫瘍ができたチワワや、
死んだまま放置された犬もい
た。「高齢で繁殖に使えば母
体に負担が大きい十歳ぐらい
の犬がほとんど。あり得ない

今春廃業したこの業者で
は、八十代の男性が一人で約
六十匹を飼育。だが、体力の
衰えもあって掃除をせず、ふ
ん尿も放置され、県は行政指
導を繰り返してきた。皮膚が

動物愛護管理法は、病気や
けが、排せつ物などを放置す
ることを虐待として禁じる。
だが、「母体のことを考えな
い工場みたいだった。金をか
けずにたくさん生ませるだ
け」。池田代表は、こうした
悪質な業者は少なくないと語
る。

富山県によると、県内の公
的機関による犬の引き取り数
は、二〇一二年の八十二匹か
ら昨年は三十七匹に激減。今
年はさらに減少する見込みと
いう。



排せつ物が放置されたままのケージに入った小型犬＝富山県西部で

石川ドッグレスキューは、
富山県内の厚生センターから
「廃業した業者の犬を引き取
ってほしい」と相談を受け、
十一月までに約五十五匹を保護
した。病院で治療し、メンバ
ーらが自宅で散歩や排せつな
どのしつけをしながら、ホー
ムページで飼い主を募る。

全国の繁殖業者から犬を引
き取っている別のボランティ
ア団体では、法改正後から引
き取り依頼が四倍に急増し
た。代表の女性は「医療費も
預かる場所も限界。この状況
が続けば、ボランティアでは
続けられない」と話してい
る。
(豊田直也)